

高齢者のために横浜市に大相撲入場券を寄贈

神奈川県遊技場協同組合(理事長 平川正寿)と神奈川福祉事業協会は、高齢者に大相撲を楽しんでもらおうと、平成19年8月30日 横浜市「横浜開港150周年・大相撲横浜場所-2007」(開催10月7日)の入場券380枚分(目録200万円相当)を寄贈しました。

この基金は、パチンコ・パチスロ業界の収益の一部を財源として充てられたものです。

1. 贈呈日 平成19年8月30日

2. 場 所 横浜市役所

3. 状 況 大相撲は、NPO法人「ヨコハマ未来地図づくり100人委員会」の主催により開催されますが、横浜市社会福祉協議会を通じて、老人クラブ等高齢者を招待するものです。

中田宏横浜市長は、「心から感謝しております。大相撲横浜場所というめったにない機会を多くの方に見てもらえるよう役立てたい。」と話されていました。

上記贈呈につきましては、神奈川新聞及びテレビ神奈川において紹介されました。



平川理事長(右)が中田横浜市長(左)に目録を贈呈し、感謝状をいただきました。